

アユの生息状況調査（2023.10.12）

2023年10月17日
水産試験場

調査日 | 2023年10月12日

調査場所 | 那珂川（黒磯～烏山）

調査内容及び方法

○坪井&高木 2016.の手法に従い、

川幅2m流程100mあたりのアユの尾数¹⁾を数えました。

○透明度、巨石率²⁾、大型藻類（青ノ口）被度を測定しました。

1)友釣りによるアユの釣れ具合と関連することが知られている

2)巨石率が高い場所はアユの生息密度が高いことが知られている

調査結果

○10地点で調査を実施しました。



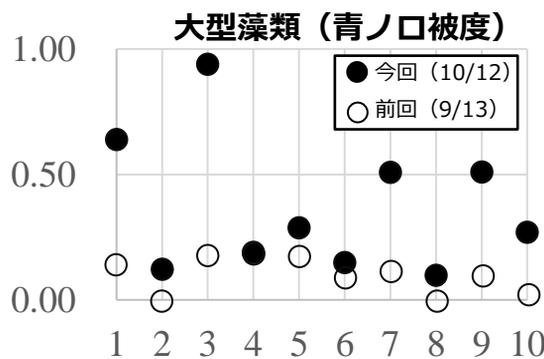
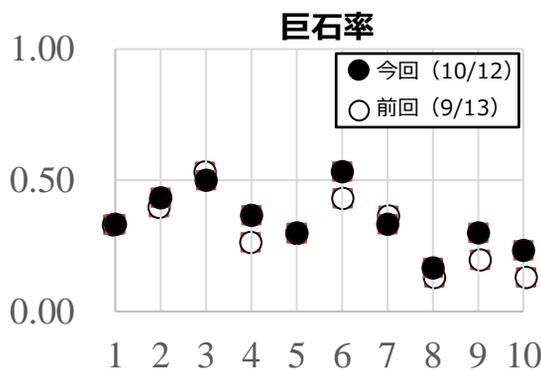
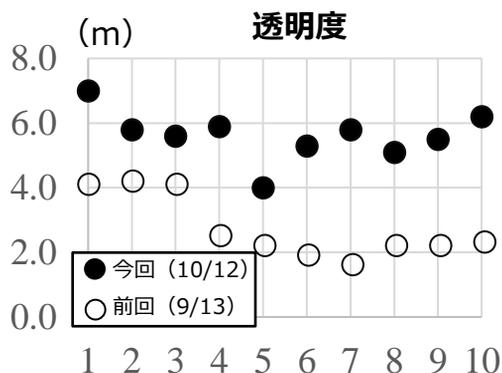
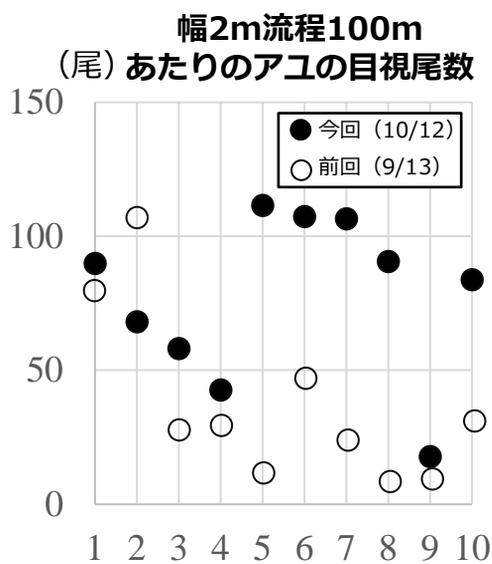
地点	地区	場所
1	黒磯	那珂川河畔公園
2	鍋掛	数ヶ室
3	寒井	矢組堰下流
4	黒羽	高岩
5	湯殿	水遊園大橋上流
6	小川	青岩
7	八溝	八溝大橋下流
8		ニコン裏
9	烏山	烏山大橋下流
10		下野大橋下流

図1 調査場所

表1 調査結果の一覧

R5.10.12

地点	地区	場所	調査距離 (m)	目視尾数 (尾)	幅2m流程100mあたりの目視尾数 (尾)	透明度 (m)	巨石率	大型藻類 (青ノ口被度)	備考
1	黒磯	那珂川河畔公園	128	115	90	7.0	0.33	0.64	緩流帯にはコカナダモが群生
2	鍋掛	数ヶ室	47	32	68	5.8	0.43	0.12	
3	寒井	矢組堰下流	43	25	58	5.6	0.50	0.94	緩流帯にはコカナダモが群生
4	黒羽	高岩	44.5	19	43	5.9	0.37	0.19	
5	湯殿	水遊園大橋上流	47.5	53	112	4.0	0.30	0.29	
6	小川	青岩	60.5	65	107	5.3	0.53	0.15	
7	八溝	八溝大橋下流	77	82	106	5.8	0.33	0.51	
8		ニコン裏	79.5	72	91	5.1	0.17	0.10	
9	烏山	烏山大橋下流	84.5	15	18	5.5	0.30	0.51	緩流帯にはコカナダモが群生
10		下野大橋下流	62	52	84	6.2	0.23	0.27	



○前回調査 (9/13) との比較

・アユ目視尾数

大きく増加 (平均では前回調査の362%)
中下流での増加の程度が大きい。

・透明度

大きく向上 (平均では前回調査の226%)

・巨石率

やや向上 (平均では前回調査の120%)

・大型藻類

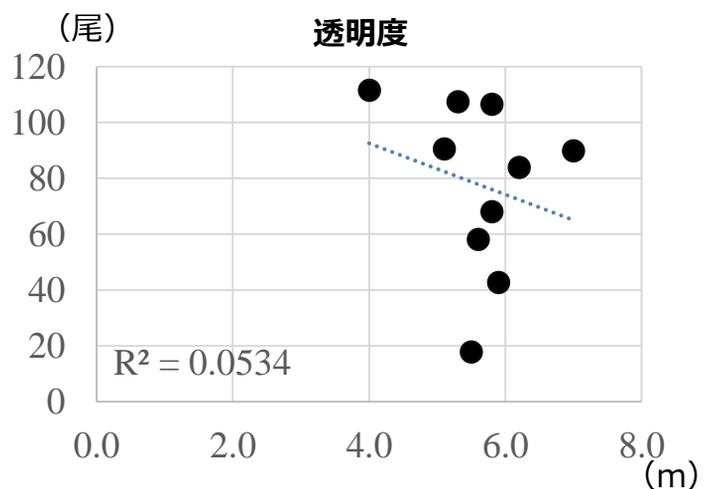
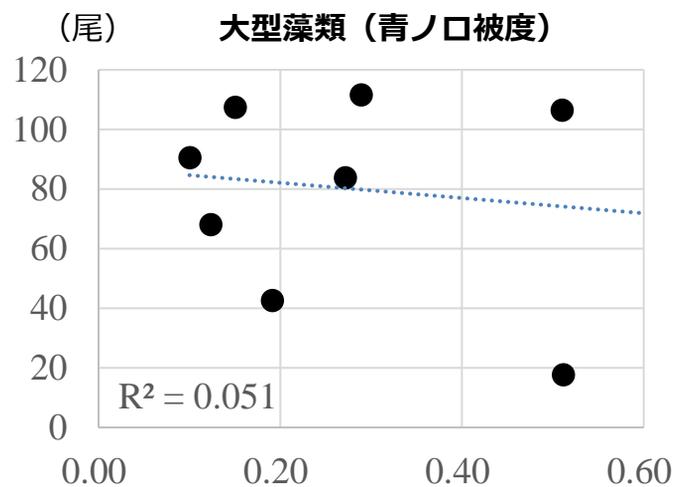
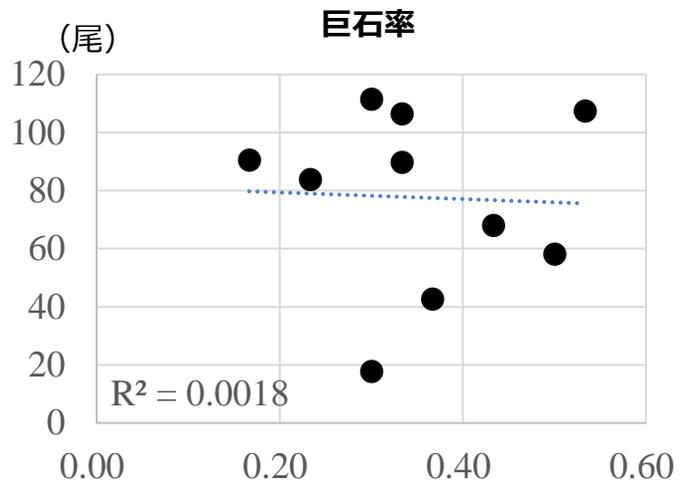
大きく増加 (平均では前回調査の427%)

○アユの目視尾数と環境要因の関係

巨石率、大型藻類、透明度、いずれの環境要因とも関係性が見られなくなった。

これは、産卵期が近づき、上流域から下流の産卵場へと移動している途中のアユが多いためと考えられる。

幅2m流程100mあたりのアユの目視尾数



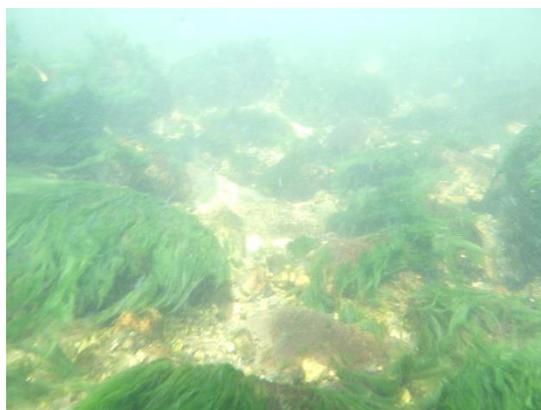
地点1
那珂川河畔
公園



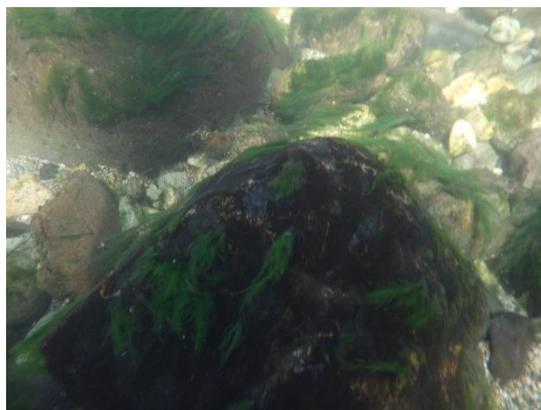
地点2
数ヶ室



地点3
矢組堰下流



地点4
高岩



地点5
水遊園大橋
上流



地点6
青岩



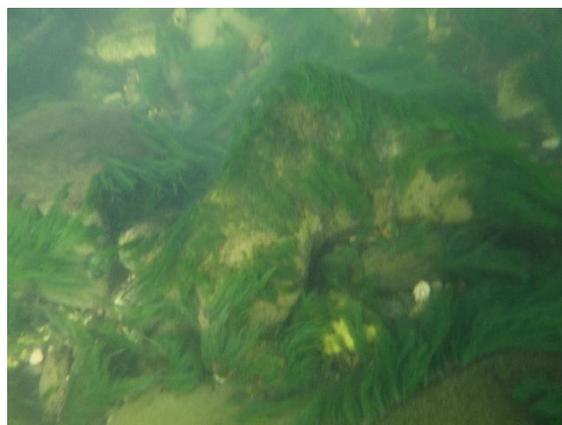
地点7
八溝大橋
下流



地点8
ニコン裏



地点9
烏山大橋下流



地点10
下野大橋下流



コカナダモの繁茂状況



那珂川河畔公園（地点1付近）



矢組堰上流（地点3付近）



コカナダモ群落の水中の様子（地点3付近）

・緩流帯にはコカナダモの群落が見られた。

栃木県水産試験場
担当：高木
0287-98-2888